

# 各種暗記カード作成手順書 (全カード作成共通操作)

## 【内容】

暗記カードに表示する内容を Excel で入力し、それを PowerPoint に差し込んで暗記カードをスライドとして作成する。授業準備の時間短縮として活用頂ければと思います。


★PowerPoint で作成されるので、授業でスライドショーとして活用できます。



また、Sway に埋め込み1人1台の環境で復習や自学自習としても使用できます。

## 【準備】

### ① 教材をダウンロードする

(PowerPoint ファイル:暗記カード作成用 ・ Excel:差し込む用データ入力用)

※  をセットで使います

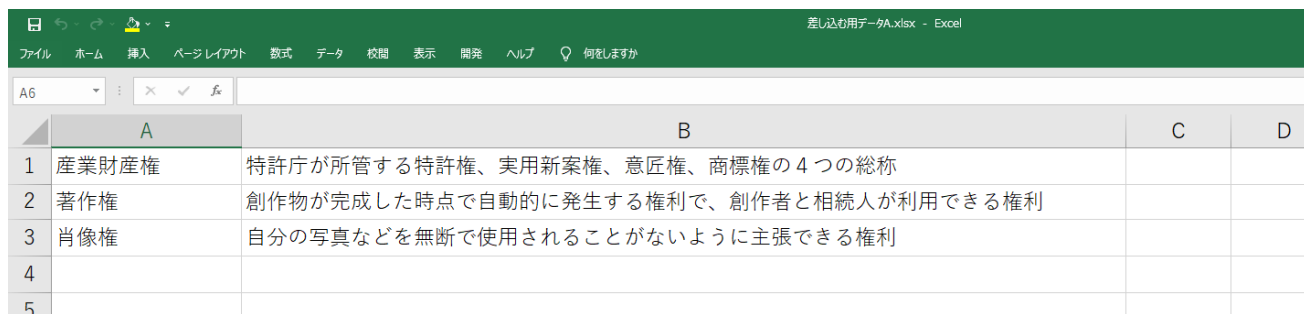
PowerPoint ファイル(3 種類)	Excel サンプルファイル(3 種類)
暗記カード作成 A.pptm	 差し込む用データ A.xlsx
暗記カード作成 A 逆.pptm ※説明が先に表示される	 差し込む用データ A 逆.xlsx
暗記カード作成 A3 枠.pptm※難易度枠付き	 差し込む用データ A3 枠.xlsx

### ② Excel ファイルに暗記データを入力し、保存する。

「差し込む用データ A.xlsx」を起動し、サンプルとして入力されているデータは消し、サンプルと同様に 入力する

※見出し行は作らず、1 行目からカード用データを入力する。Sheet は 1 枚だけにする。

(例)

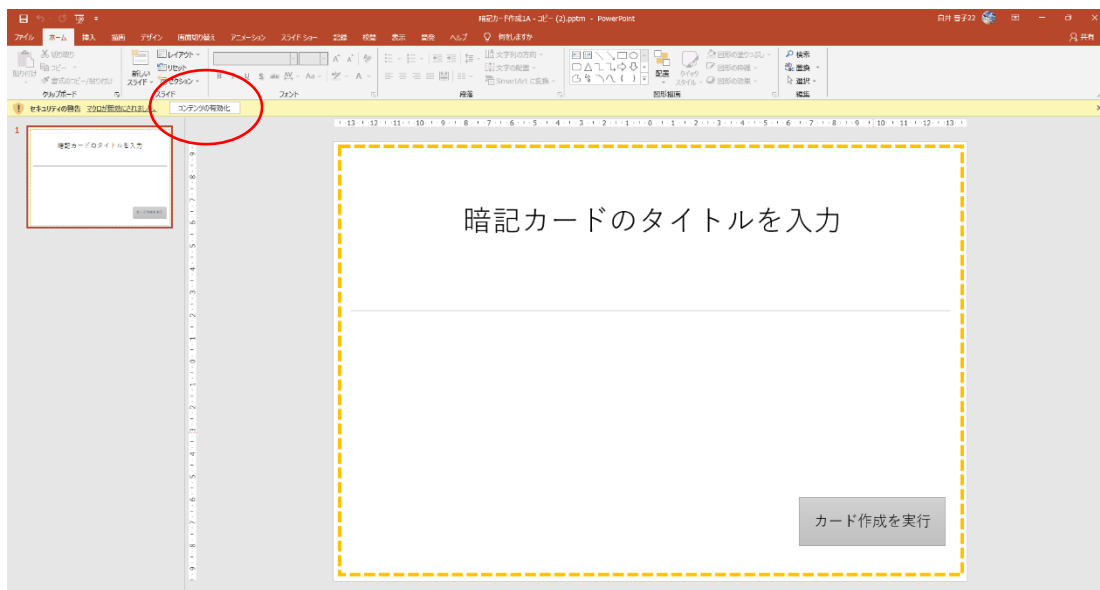


	A	B	C	D
1	産業財産権	特許庁が所管する特許権、実用新案権、意匠権、商標権の4つの総称		
2	著作権	創作物が完成した時点で自動的に発生する権利で、創作者と相続人が利用できる権利		
3	肖像権	自分の写真などを無断で使用されないことがないように主張できる権利		
4				
5				

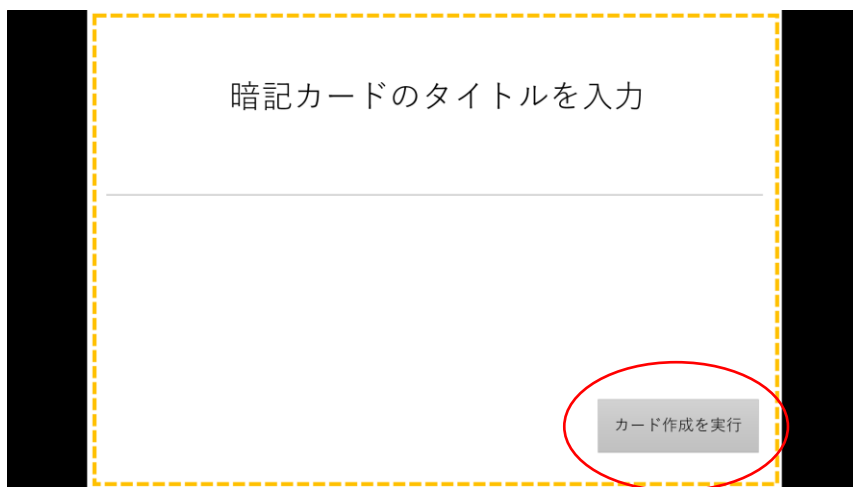
※ファイル名は任意の名前を付けて保存してください。

## 【カード作成】

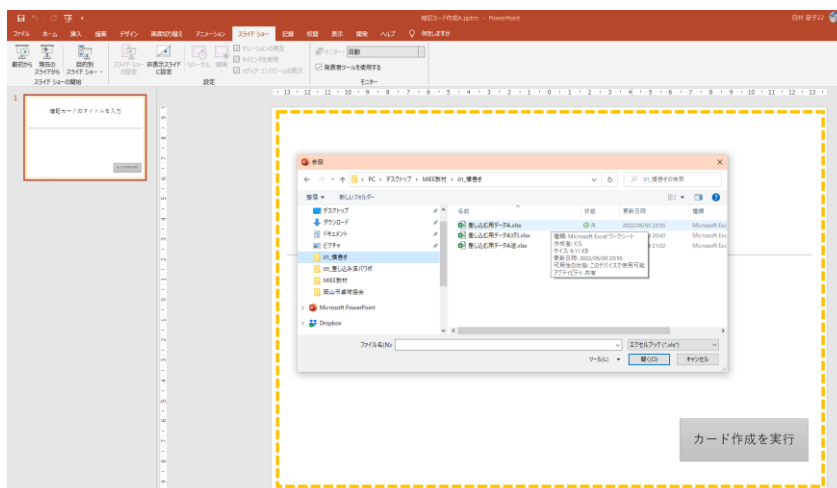
- ③ 「暗記カード作成 A.pptm」を起動し、コンテンツの有効化ボタンをクリックする。



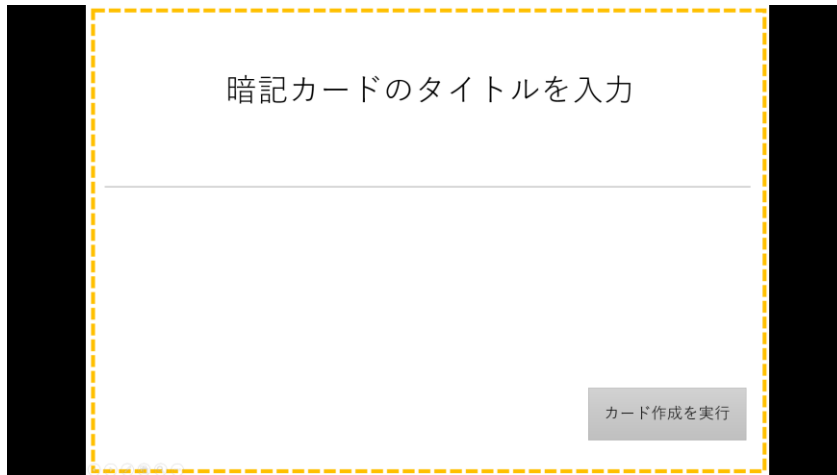
- ④ F5キーを押すか、または、[スライドショー]—[最初から]で、スライドショー実行の状態にし、カード作成を実行ボタンをクリックする。



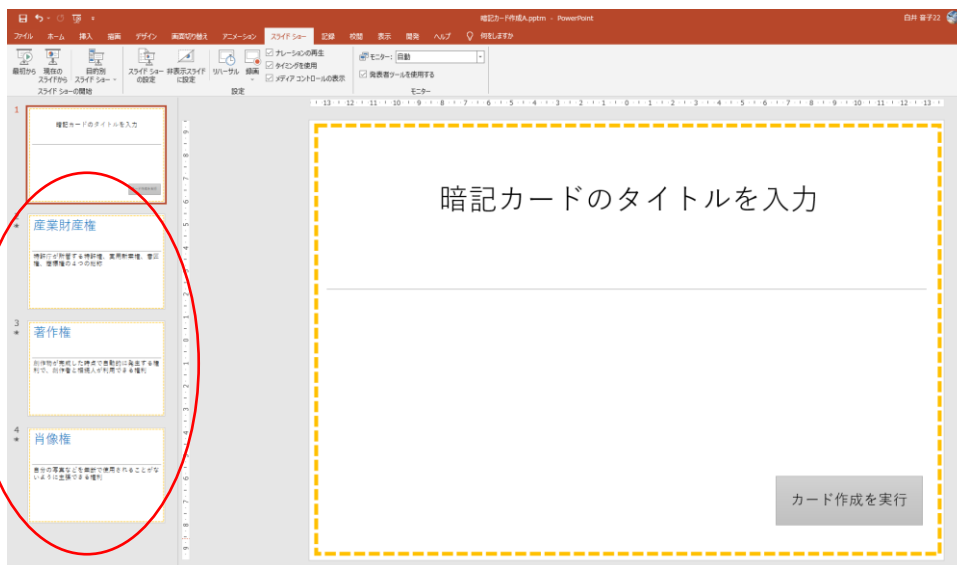
- ⑤ 差し込む Excel ファイルを指定する。 ※作成保存した任意のファイルを指定してください



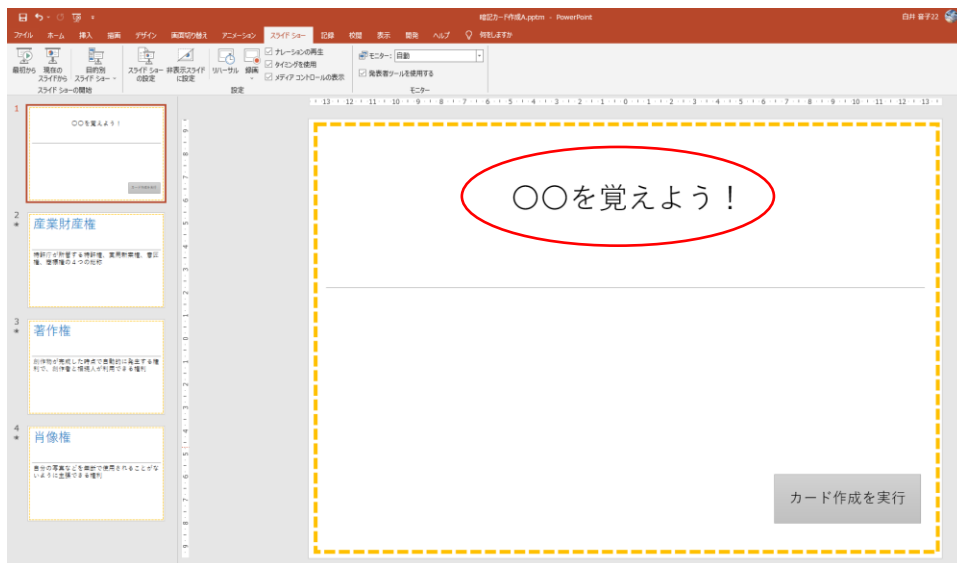
⑥ (下図の)スライドショー状態を ESC キーを押して解除する。



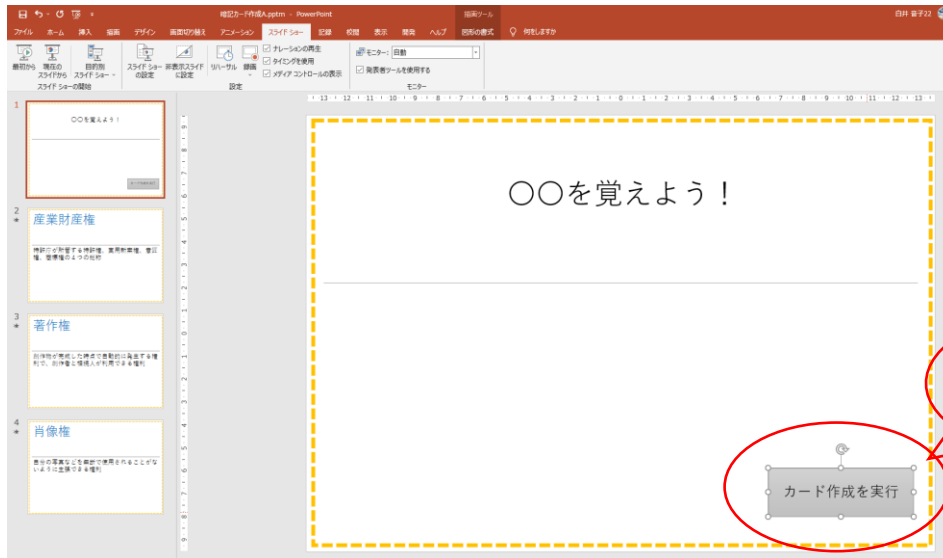
⑦ データ分のスライドが作成される。



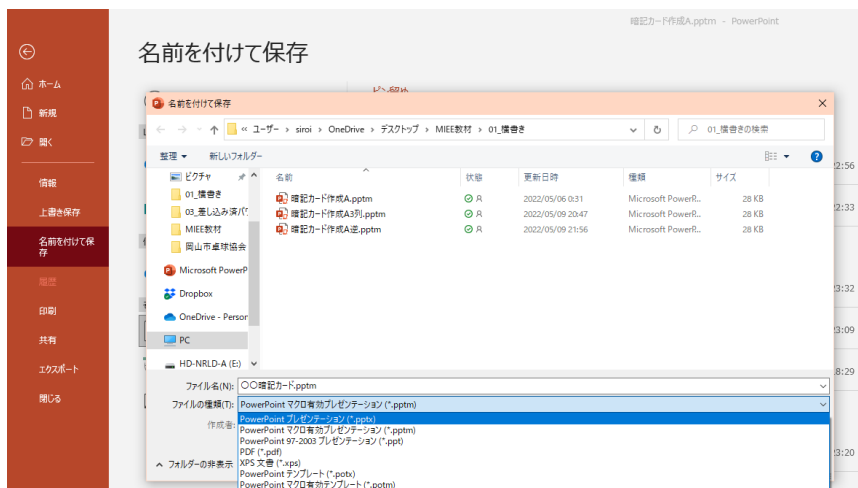
⑧ 暗記カードのタイトルを入力する



⑨ カード作成を実行ボタンを削除する。



⑩ 暗記カードに名前を付けて、ファイルの種類を **PowerPoint プレゼンテーション (\*.pptx)** に設定して保存する。



完成！

★スライドショーを実行してみましょう！

クリックするごとにカードが進みます。